

三段壁 視察報告書

(和歌山県西牟婁郡白浜町)

1 現場付近の状況

- ・投身場所とされる岩場は、海上42Mで、落下時に岩に打撃した後に海上に投げ出されることが多く、岩場の少ない場所に比べて致死率は高いようである。
- ・前任の牧師より継承し、NPO白浜レスキューネットワークと呼ばれる、水際での自殺防止活動と、その後の生活及び就労支援を行っている団体がある。
- ・共同生活者との時間を設けたところ、相談を持ちかけられる場面もあり、就労困難の様子は語られる内容から伺われた。
- ・共同生活するアパート(シェルター)の活用基準を設けながらも個別に対応していた。アパートが手狭な場合として、教会の長椅子を利用してベッドにしていた。

2 自殺防止対策

- ・精神保健福祉士は、保護した自殺未遂者の住居先の自治体との連携を取り、自宅まで同伴している。
- ・三段壁入口等に設置されたNPO白浜レスキューにつながる電話BOX前には、「あなたの街のいのちの電話」と書かれた立て札が、また岸壁付近には「三段臨時交番」が設置され、電話がかけられるようになっていた。

3 自治体の担当者談

- ・自殺防止対策のひとつとして「青色照明」についてリサーチと検討をしている。
- ・白浜レスキューと共にパトロールをするなどの活動をしている。

4 考察

- ・自殺防止活動への取り組みは積極的であり、行政が活動を支援しているなどチームワークの良さが伺われた。東尋坊の活動とともにモデル地域として期待される。